

2026年度の主な改定と変更

1. 個別基準 (2026.3.1)

- 情報専門系学士課程のCS（コンピュータ科学）分野の分野別要件を、最新の動向に合わせて以下のように変更した。

主として 関連する 共通基準 の項目	変更前	変更後
1.2	付表3-2の内容に加えて、当該分野の知識・能力観点として、情報処理学会策定のJ17-CS、J07-CS、米国IEEE-CSとACM策定のCS2013、CS2008、CS2001のいずれかが考慮されているか、または以下が考慮されていること。	付表3-2の内容に加えて、当該分野の知識・能力観点として、情報処理学会策定のJ17-CS、J07-CS、米国IEEE-CSとACM策定のCS2023、CS2013またはCS2008のいずれかが考慮されているか、あるいは以下が考慮されていること。

2. 認定・審査の手順と方法 (2025.12.23)

項目	変更前	変更後
3.3	副審査団長は、審査団長を補佐し、審査団長に事故のあった場合に当該職務を代行する。	副審査団長は、審査団長の指示に基づき審査団長の作業を分担して遂行し、審査団長に事故のあった場合にその職務を代行する。
3.5	なし	プログラム運営組織は、審査チームから困難な対応を要求されたり、審査チームと連絡が取れないなど、審査の進捗に悪影響を及ぼす事態が生じた際に、審査団に専任の審査団長が置かれている場合には、同専任審査団長に対し上記の事態を説明し、適切な対処を依頼することができる。上記の専任審査団長が当該の処置を実施しても事態が改善しない場合や、審査団に専任の審査団長が置かれていない場合には、プログラム運営組織は、JABEE事務局に当該の状況を説明し、適切な対処を依頼することができる。JABEE事務局は認定・審査調整委員会に当該の状況を報告し、認定・審査調整委員会が対応を決定する。

4. 自己点検書作成の手引き (2025.12.23)

項目	変更前	変更後
1.1	なし	JABEEは、自己点検書のテンプレートとしてMS WordファイルやMS Excelファイルを提供しています。これらのテンプレートに対応しないソフトウェアを利用してPDFファイルを作成することも可能ですが、PDFファイルの書式が本テンプレートの書式に整合するように作成してください。ただし、表2は、フィルター機能を使用して審査項目への適合性を確認しますので、MS Excelによる作成をお願いします。
5.1.2	なし	建築系学士修士課程のプログラムと「同プログラムの学士課程部分のエンジニアリング系学士課程のプログラム」を同一の審査チームで同時に審査する場合には、「建築系学士修士課程のプログラム」の自己点検書のみを提出することとします。ただし、エンジニアリング系学士課程のプログラム単体での審査も行えるように留意してください（たとえば、学士課程の学習・教育到達目標やその達成度評価の方法と基準なども含めて記載していただく必要があります）。

- 別紙1の表を「審査の手引き」付表3の変更（次項参照）に合わせて変更した。

5. 審査の手引き (2026.5.12)

- 付表2に遠隔調査を1日で実施する例と、複数日（2回）に分けて実施する例を記載した。
- 付表3の「閲覧」の項目に「議事録、活動記録など」を追加した。

6. プログラム点検書・審査報告書 (2026.5.12)

- プログラム点検書（実地審査後）に「訪問調査で現地を訪問した審査チーム構成員の氏名」欄を追加した。